

第 12 期理事会の会長選挙における新たな実施案について

会長 石田 祐

1. 新たな会長選挙実施案について

2022 年度定時総会及び第 24 回研究大会は、新型コロナウイルス感染症対策として遠隔開催にて実施される見込みである。この定時総会及び研究大会直後に開催される予定である「第 12 期会長選挙」についても、対面での開催を決断するには不透明な状況であり、適切に選挙を実施できる危機管理対応が求められる。ついては、正副会長選任規程第 20 条に基づき、第 12 期理事会の会長選挙における投票の実施は、WEB 会議ツール「Zoom」を利用した遠隔開催で実施することを承認いただきたい。

<正副会長選任規程（別紙：第 2 号議案資料 2）>

第 20 条 自然災害の発災や感染症の拡大など不測の事態により会長選挙の実施が困難と認められた場合、選挙管理者は、実施可能な新たな会長選挙実施の案を作成し、理事会に報告しその承認を得た場合は、その手続によって実施するものとする。

※選挙管理者＝前期理事会の会長

2. 新たな会長選挙実施案に関する補足説明

上記の新たな会長選挙実施案は、会長選挙における投票部分について、Zoom を利用して遠隔で実施するものである。すなわち、正副会長選任規程で定めている「投票所」を「Zoom」等に、また「投票用紙を用いた投票」を「Zoom を利用した投票」等に読み替えて実施することとする。規程における該当箇所は以下の下線部の通りである。

<正副会長選任規程（別紙：第 2 号議案資料 2）>

（被選挙人となることの辞退の受付）

第 9 条 理事候補者は、会長選挙に先立ち、会長選挙の被選挙人となることを辞退することができる。

2 選挙管理者は、前条第 3 項に基づき理事候補者に対して会長選挙の実施を告知するに際し、理事候補者が被選挙人となることの辞退を希望する場合は、所定の期限までに選挙管理者に対してその旨を電子メールにより届け出ることを求める。

3 選挙管理者は、前項により理事候補者が辞退を届け出たときは、それを受理する。

4 選挙管理者は、前項で辞退を受理した理事候補者を除き、会長選挙の被選挙人名簿及び投票用紙（様式第 1 号以下、同じ。）を作成する。

第 2 号議案資料 1

(投票方法)

第 12 条 投票の方法は、本章第 2 節に定める投票所における投票又は第 3 節に定める不在者投票とする。

(投票所)

第 14 条 投票所は、第 1 回理事会会場など選挙管理者が指定する場所に設ける。

2 投票所の開閉時間は、第 1 回理事会の開会時間内で、選挙管理者が定めるところによる。

(投票用紙及び投函)

第 15 条 選挙人は、投票用紙に記載されている候補者欄に○の記号を自書し、これを投票箱に入れなければならない。

(無効投票)

第 17 条 第 4 章第 2 節に定める投票所での投票について、次の各号のいずれかに該当する投票は無効とする。

- ① 所定の投票用紙を用いないもの
- ② 一つの職に対し 2 名以上の候補者欄に○の記号を記載したもの
- ③ ○以外の事項を記載したもの
- ④ 白票

(開票)

第 19 条 開票は、第 1 回理事会の投票所において、選挙人の立ち会いの下にその面前において、選挙管理者が行う。

(書類保存)

第 22 条 選挙管理者は、投票所の事務終了後直ちに、開票された投票を封入押印し、本会事務局に引き継がなければならない。

以 上